

# 放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

アンケート実施期間: 2024年12月  
結果公表日: 2025年3月27日

## 回答率

事業所職員: 4名回答、回答率 100%  
保護者様: 20名回答、回答率 80%

## 職員の意見

### ○環境・体制整備

- ・床にテープを貼りエリアを分け、必要に応じて机を移動したり片づけたりして安全面に配慮している。
- ・構造上、死角になる場所やトイレ前に段差があるが、安全面に配慮した職員配置や必要に応じた個別対応(介助)を行い問題なく過ごせている。
- ・教室の一部に半個室になれるスペースを作り、クールダウンできる場所を確保している。
- ・法令上の人員基準は満たしているものの、送迎の時間帯によっては職員数が十分ではないと感じる場面もあるため、今後も法人内の近隣他事業所との連携や送迎調整、配置の検討は必要である。

### ○業務改善

- ・業務前、業務後のミーティングにて、目標設定や振り返り、連絡事項の共有を行うことが出来ている。
- ・支援内容や児童について話し合うべき事例が発生した際は、都度ミーティングを実施し職員間で意見を出し合い、考える時間を設けている。
- ・ミーティング実施が難しい場合は、支援専用のチャットを運用し共有している。

### ○適切な支援の提供

- ・集団療育活動の内容は、毎月のテーマと五領域に沿って複数の企画案を出して計画している。また、同じ活動であっても、主担当を変えて内容に変化をつけている。
- ・主担当は、ミーティングにて活動全体のねらいだけでなく、前回気になった様子や、個々の課題・達成度を設定し、支援基準を明確化して共有している。

### ○関係機関や保護者との連携

- ・保護者とは、サービス提供記録、送迎時、電話、メール等で連携を図ることができている。
- ・学校とは、送迎時に引継ぎを受けている。また、気になることは都度担任に確認し、連携を図っている。
- ・相談支援員や他事業所とは適宜、情報共有を行っている。また、市の事業所連絡会に毎回参加している。

### ○保護者への説明責任等

- ・契約時は、必ず重要事項や個人情報取り扱い、利用者負担等に関して丁寧に説明を行っている。
- ・今年度は年2回、療育参観と保護者会を開催し、事業所の活動や子ども達の様子を共有している。

### ○非常時等の対応

- ・毎月一回、地震・火災・水害・不審者対応等、様々な状況を想定した避難訓練を実施している。
- ・アレルギーのある利用者に関して、保護者からお知らせいただき教室職員全員で共有している。
- ・虐待防止のため定期的に虐待防止研修及び身体拘束適正化研修を開催し、職員の意識を高めている。

# 保護者様のご意見

## ○環境・体制整備

・活動等のスペースについて、8割以上の方から「運動や室内遊びができるスペースが確保されている」とのご意見をいただいた。一方で、「外遊びがない」とのご意見もいただいた。

## ○適切な支援の提供

・専門性のある支援について、「子どもの心情や言動に合わせ、その都度対応していただいている」「参考にさせてもらっている」等のご意見をいただいた。  
・「個別支援計画がニーズや課題を分析した上で作成されているか」、「サービス計画に沿った支援が行われているか」の問いに対して、9割以上の保護者から評価いただいた。  
・活動プログラムについて、「毎月いろんな活動を体験させてくださり、ありがたい」とのご意見をいただいた。

## ○保護者への説明等

・保護者支援について、「不安に感じていることに丁寧に対応して下さっている」「親目線、こども目線の双方から困っていることを気にかけて下さりありがたい」などのご意見をいただいた。  
・利用者の情報共有について、「具体的に子どもとのやり取りを示してくれる」「活動の様子や頑張ったこと、体調面なども報告してくださり、体調管理や親子のコミュニケーションに役立っている」等のご意見をいただいた。

## ○非常時等の対応

・「定期的に必要な訓練が行われているか」「安全の確保が十分に行われた上で支援をしているか」の問いに対して、全員から「はい」とのご回答をいただいた。  
・各種対応マニュアルの周知・説明について、「どちらともいえない」「わからない」とのご回答もあったため、再確認が必要である。

## ○満足度

・事業所の支援に満足しているかについて、95%の方から「はい」とのご回答をいただき、満足度が高いことがうかがえた。「スタッフの方々が子ども達に寄り添う姿勢や、保護者の思いを聞いてくださる気持ちが感じられ、安心・信頼感が日に日に増している」とのご意見もいただいた。

# 昨年度の振り返り

## ○今年度の取り組む具体策

・学校公開や地域の連絡会等に参加し、関連機関との情報共有の機会を設ける。  
・保護者会や療育参観、またはそれに代わる企画を開催する。また、引き続き近隣公共施設への課外活動も実施する。  
・緊急時対応について、改めて保護者に周知する。（書類配布、保護者会など周知方法は状況を見て検討）  
・決められた研修以外に、教室内研修を実施しスキルアップを図る。（年に4～6回程度）

## ○改善できた点・まだ残る課題

・学校公開や連絡会等、日程が合うものは全て参加し関係機関との情報共有の機会を設けることができた。  
・前期末、後期末の年2回、療育参観兼保護者会を開催した。また、長期休みや特別開室にて、近隣施設への課外活動も実施することができた。  
・緊急時対応について、都度該当する災害に合わせた対応のお知らせを共有することはできた。全員に周知できていないところが課題として残るため、希望者に改めて個別に対応する等の対策を検討する。  
・研修について、各自の階層別研修の充実もあり、追加の教室内研修の実施は目標数より少なかった。今後、教室では事例検討を中心に取り組んでいく。

# アンケート結果からみる教室の強み・改善点

## ○教室の強み

- ・利用者の引継ぎや保護者の相談対応について、好評価をいただいていること。
- ・集団療育活動の内容は、毎月のテーマと五領域に沿って複数の企画案を出して計画しており、活動全体のねらいだけでなく、前回気になった様子の共有や個別支援計画に基づいた個々の課題・達成度を設定し、支援基準を明確化することで、適切な支援の提供を試みていること。
- ・業務前、業務後のミーティングにて、目標設定や振り返り、連絡事項の共有を行うことが出来ていること。
- ・ほとんどの利用者が安心感を持って通所し、保護者からも事業所の支援に満足していただけていること。

## ○改善点

- ・保護者会や療育参観の開催を継続する。要望があれば、保護者同士の交流の機会も検討する。
- ・ホームページでの活動共有や配信が滞っているため、ブログの掲載に取り組む。
- ・非常時対応について、希望者に個別で再度説明する等の対応を検討し、周知の徹底に務める。
- ・教室内研修として、利用者に関する事例検討を実施し、支援の見直しや職員間の連携強化、また個々のスキルアップを図る。

# 中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

## ○中長期的な改善計画

- ・各種関連機関と連絡を取り合える関係性を築き、利用者への支援の充実化を図る。
- ・地域へ開かれた事業所運営の実現を目指す。
- ・利用者や保護者の要望を取り入れながら、一人ひとりに寄り添った支援を提供できるよう、職員は自己研鑽につとめ、質の良い療育を実施していく。

## ○1年間で取り組む具体策

- ・学校公開や地域の連絡会等に参加し、関連機関との情報共有を継続する。また、担当者会議や移行支援等も積極的に実施する。
- ・近隣公共施設への課外活動を実施し、地域と関わりを持つ機会を増やす。
- ・継続して保護者会や療育参観の開催をする。要望に応じて、保護者同士の交流会企画も検討していく。
- ・教室内にて利用者の事例検討会を多く設け、指導員のスキルアップを図る。